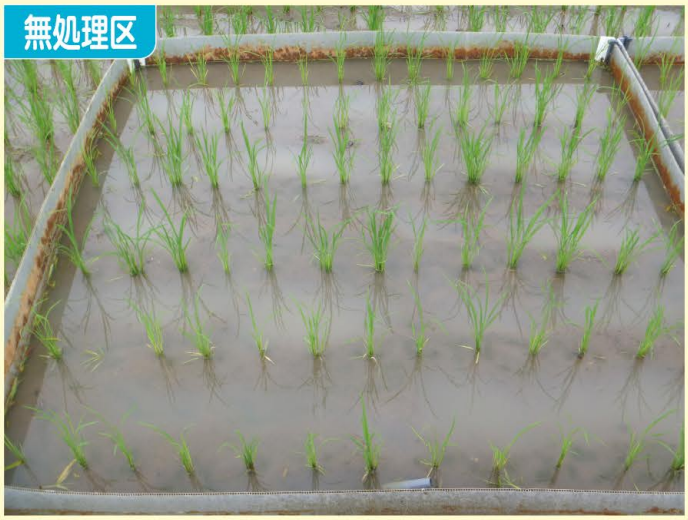
苗立枯病防除だけじゃない！ ―タチガレンの新しい使い方―

タチガレン®液剤

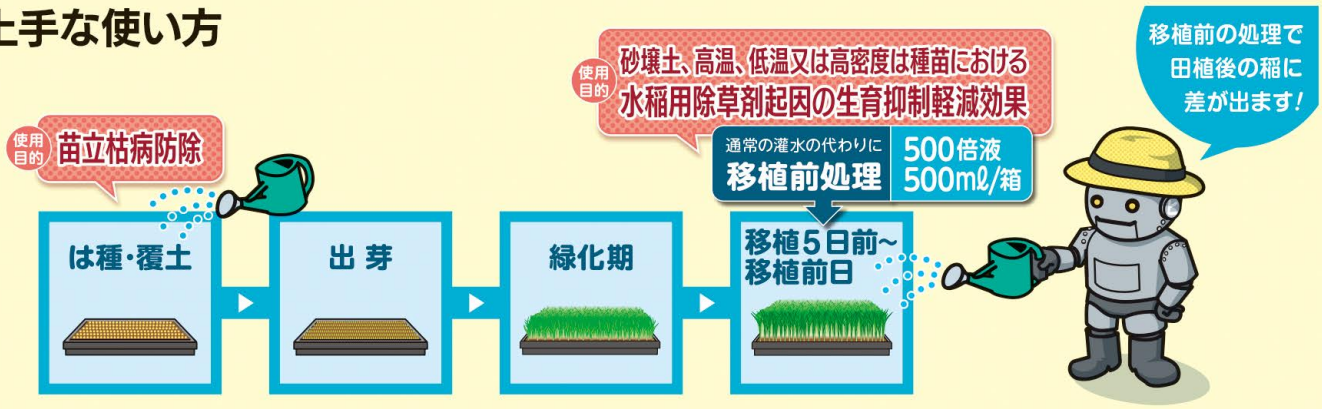
砂壌土、高温、低温または高密度は種苗における

水稲除草剤による生育抑制軽減効果

タチガレン液剤を移植前に処理しておくと、除草剤によるストレスに負けない強い苗になります。



上手な使い方



農業用植物成長調節剤・殺菌剤

農林水産省登録 第10332号

タチガレン®液剤

ヒドロキシイソキサゾール液剤　殺菌剤分類 32

稲WCS使用可能

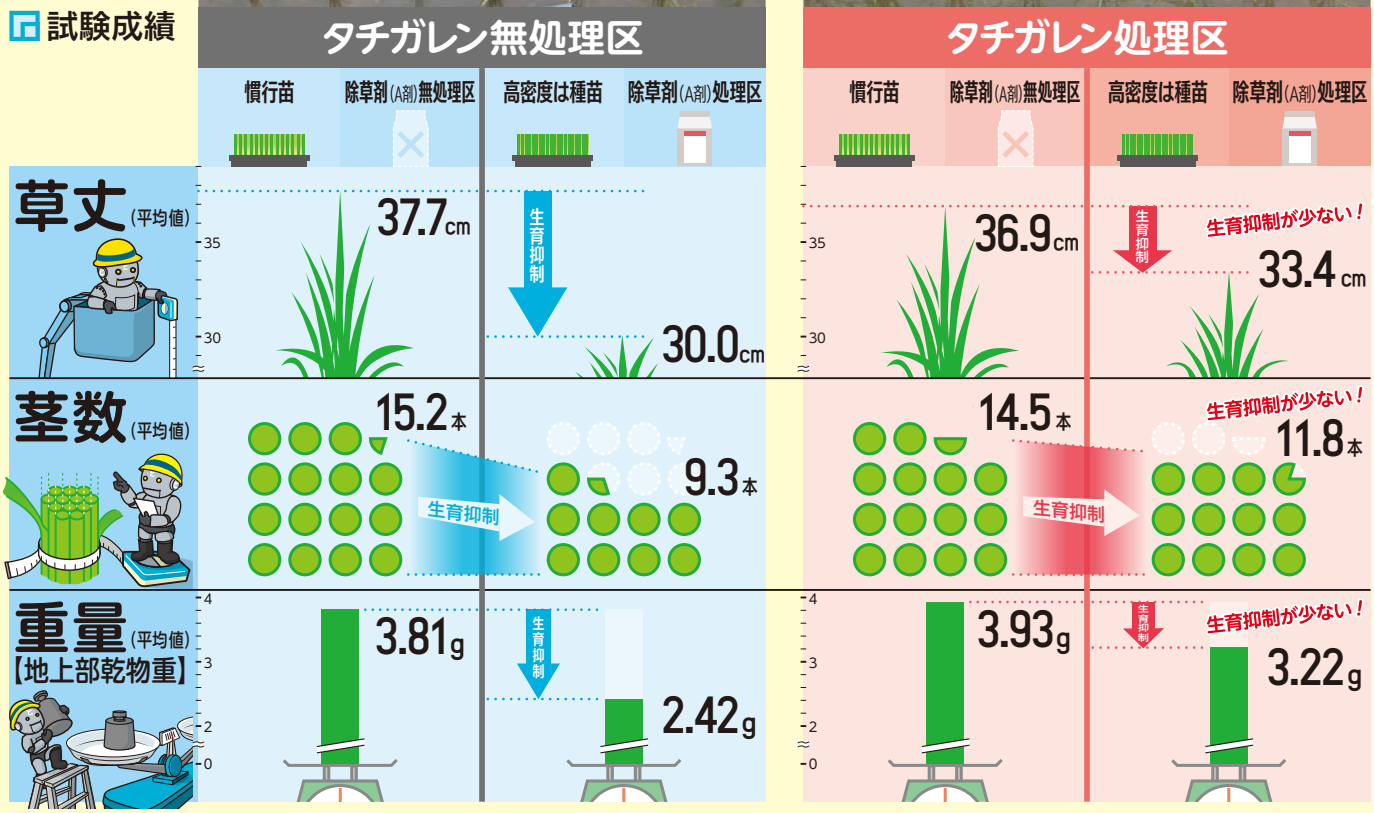
農林水産省「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載された農薬です。

ホクサン株式会社

タチガレンは登録商標です

田植19日後の様子

試験成績



試験概要

品　種：コシヒカリ
は種日：5月18日
は種量：【慣行苗】150g/箱
【高密度は種苗】300g/箱

〔タチガレン液剤〕
処 理 日：6月15日(移植3日前)
薬　　量：500倍希釈液を500mℓ/箱
処理方法：土壌灌注処理

本田栽培期間
試験規模：3.24㎡/区、3反復
土壌条件：沖積砂壌土
移 植 日：6月18日

2020年 山梨県総合農業技術センター
除草剤処理区：A剤を移植当日処理
調　査　日：〔草丈・茎数〕移植21日後　10株/区
〔地上部乾物重〕移植28日後　20株/区

上記写真は、高密度は種苗におけるタチガレン液剤有無の比較写真です

▶ 高密度は種苗は、除草剤使用に起因する生育抑制が確認されているが、タチガレンを処理した苗は生育抑制が軽減されている。

タチガレン®液剤

農林水産省登録 第10332号　ヒドロキシイソキサゾール・・・30.0%　毒性：普通物＊　＊「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

適用表

※稲(箱育苗)の登録のみ抜粋。

2023年4月1日現在

作物名	適用病害名 使用目的	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ヒドロキシイソキサゾールを含む農薬の総使用回数
稲（箱育苗）	苗立枯病（フザリウム菌）（ピシウム菌）、根の生育促進、移植時の発根及び活着促進、ムレ苗防止	500～1000倍	育苗箱（30×60×3㎝、使用土壌約5ℓ）1箱当り500mℓ	は種時又は発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	3回以内（移植前の土壌混和は1回以内、移植前の土壌灌注及び灌注は合計2回以内）
	砂壌土、高温、低温又は高密度は種苗における水稲用除草剤起因の生育抑制軽減	500倍		移植5日前～移植前日	1回	灌注	
	ごま葉枯病			は種時	1回	土壌灌注	
	苗立枯病（フザリウム菌）（ピシウム菌）、根の生育促進、移植時の発根及び活着促進、ムレ苗防止	1000倍	育苗箱（30×60×3㎝、使用土壌約5ℓ）1箱当り1ℓ	は種時又は発芽後	2回以内	土壌灌注又は灌注	
	ごま葉枯病			は種時	1回	土壌灌注	

【注意事項】砂壌土、高温（最高気温30℃以上）、低温（日平均15℃以下）又は高密度は種苗における水稲用除草剤起因の生育抑制軽減は、除草剤分類（RACコード）2又は15の有効成分を含む水稲用除草剤で効果を確認している。

○使用前にはラベルをよく読んでください。　○ラベルの記載以外には使用しないでください。　○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。　○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。　○防除日誌を記帳しましょう。

＊本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。　＊本印刷物は2023年4月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い

ホクサン株式会社
技術普及課／北広島市北の里27番地4　Tel：011-370-2280

agg.23.04-5